

第15回北海道小学生ゴルフ大会

開催日：令和3年10月17日（日）

会場：早来カントリー倶楽部 北コース

主催：スポーツニッポン新聞社

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に記載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「一般の罰（2罰打）」となる。

【ローカルルール】

1. アウトオブバウンズ（規則 18.2）

アウトオブバウンズ（OB）は白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。ただし、2番ホールグリーン奥のアウトオブバウンズの区域を越えた球は、その球が向こう側のコースに止まっている場合でも、アウトオブバウンズの球となる。

2. ペナルティーエリア（規則 17）

(a) 片側だけ定められているペナルティーエリアは無限に及ぶ。

(b) ペナルティーエリアが境界に隣接している場合、そのペナルティーエリアの縁はその境界まで及び、その境界と一致する。

3. 異常なコース状態（規則 16）

(a) 修理地

青杭または白線で囲まれた区域

(b) 動かさない障害物

(1) 白線の区域と動かさない障害物がつながられている場合、ひとつの異常なコース状態として扱われる。

(2) U字排水溝はジェネラルエリアの一部として扱われ、ペナルティーエリアではない（例外：ペナルティーエリアとしてマーキングされている区域の中にあるU字排水溝）。

(3) 人工の表面を持つ道路に隣接しているU字排水溝はその道路の一部として扱う。

(4) 樹木の支柱、散水栓、オートスロープ、堆積物、コース内の木製の階段及び橋

4. 不可分な物

次のものは不可分な物であり、罰なしの救済は認められない：

樹木や他の常設物に密着させてあるワイヤ、ケーブル、巻物、その他の物

5. クラブと球

(a) プレーヤーが使用するドライバーはR&Aが発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッドを持つものでなければならない。このローカルルールの違反の罰は失格。

(b) プレーヤーは2010年1月1日に施行された用具規則の溝とパンチマークの仕様に適合するクラブを使わなければならない。このローカルルールの違反の罰は失格。

(c) プレーヤーが使用する球はR&Aが発行する最新の適合球リストに掲載されているものでなければならない。このローカルルールの違反の罰は失格。

6. プレーの中断（規則 5.7）

プレーの中断と再開の合図

差し迫った危険のための即時中断：競技委員会を通じて連絡する。

危険な状況ではない中断：競技委員会を通じて連絡する。

プレーの再開：競技委員会を通じて連絡する。

注：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となる可能性がある。

7. 練習（規則 5.2）

規則 5.5b は次の通り修正される

2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない

(1) 終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、

(2) 終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。

8. 移動

ラウンド中、プレーヤーやキャディーは動力付きの移動機器に乗車してはならない。ただし、委員会が認めた場合や、事後承認された場合を除く。

このローカルルールの違反に対する罰：

そのプレーヤーはこのローカルルールの違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。この違反がプレーするホールとホールの間で起きた場合、罰は次のホールに適用する。

※No.18~No.1の間、No.9~No.10の間、No.15~No.16の間に設置してある乗用カートは使用することができる。

9. キャディー

プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰：

- ・違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。
- ・違反がホールとホールの間で起きた場合、プレーヤーは次のホールに対して一般の罰を受ける。

または違反がホールとホールの間まで継続した場合、プレーヤーは次のホールに対しても一般の罰を受ける。

10. 後方線上の救済を受けて、救済エリアの外からプレーした球

後方線上の救済を受ける場合、プレーヤーが関連する規則(16.1c(2), 17.1d(2), 19.2b,19.3b)が要求する救済エリア内に球をドロップしたが、その救済エリアの外に止まった球をプレーした場合、その球をドロップしたときに最初に地面に触れた箇所から1クラブレングス以内にその球が止まっているのであれば、追加の罰はない。この罰の免除は、球が基点よりホールに近い所からプレーされていたとしても、元の球の箇所や、球がペナルティーエリアの縁を最後に横切ったと推定した地点よりホールに近づいてプレーしていなければ適用する。

このローカルルールは関連する規則の後方線上の救済に関する処置を変更するものではない。つまり、基点と救済エリアはこのローカルルールによって変更されず、正しい方法で球をドロップし、その球が救済エリアの外に止まったプレーヤーは、それが起きたのが最初のドロップであっても、2回目のドロップであっても、規則14.3c(2)を適用することができる。

11. 壊れた、または著しく損傷したクラブの取り替え

規則 4.1b(3)は次のように修正される：

プレーヤーのクラブを乱暴に扱った以外のケースでラウンド中にそのプレーヤーやキャディーによって「壊れた、または著しく損傷した」場合、そのプレーヤーは規則 4.1b(4)に基づいてそのクラブを別のクラブに取り替えることができる。クラブを取り替える場合、そのプレーヤーは壊れた、または著しく損傷したクラブを規則 4.1c(1)の処置を使用して、すぐにプレーから除外しなければならない。

このローカルルールの違反に対する罰 — 規則 4.1b 参照

【競技の条件】

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. タイの決定

所定のホールが終わり、1位がタイの場合は、即日委員会の指定するホールにおいてホールバイホールのプレーオフを行い、優勝者を決定する。3人以上でプレーオフが行われる場合、優勝者以外の競技者は2位タイとする。なお、通過ラインにタイが生じた場合はマッチングスコアカード方式により全国大会出場者を決定する。

【マッチングスコアカード方式】

①10番から18番ホールの合計スコア、②13番から18番ホールの合計スコア、③16番から18番ホールの合計スコア、④18番ホールのスコア、⑤4番から9番ホールの合計スコア、⑥7番から9番ホールの合計スコア、⑦9番ホールのスコアの順で決定する。上記の方法でも決まらない場合は、⑧委員会によるくじ引きで決定する。尚、くじ引きの際、当該選手不在の場合は委員会が代理でくじ引きをする。

4. スコアカードの提出

プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーが所定のスコアリングエリアから出た時点で競技委員会に提出されたことになる。スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレーヤーは委員会にその意思を告げなければならない、そしてすぐに戻らなければならない。

5. 競技終了時点

競技委員長が成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

6. ティーマーカー

本競技のティーマーカーは赤マークとする。

【注意事項】

1. 大会受付は指定練習日(10/16)は午前7時、競技日(10/17)は午前6時30分から開始する。
2. 競技の条件やローカルルールに追加変更のあるときは、クラブハウス内掲示板とスターターズテント内に掲示して告知する。
3. スタート時刻40分前にはクラブハウス内で大会受付とコースフロント受付を済ませ、スタート時刻10分前には必ずティーインググエリア周辺で待機すること。但し、欠場者が出た場合は組み合わせを変更する場合がある。
4. プレーの進行に留意し、前の組との間隔をあげないように注意すること。不当な遅延、スロープレーについては、規則5.6aにより罰せられることがある。
5. パッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
6. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
7. 競技委員会は規則1.2に基づき、すべての競技関係者への暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーに対して行動規範の罰を課すことができる。規範の違反について適用される罰の段階(例はセクション5H(3)参照)
8. 失格など競技委員会の決定について、抗議、その他のクレームは一切認めない。
9. 練習は指定練習場で行うこと。打球練習場は備え付けの球を使用し、1人1コイン(30球)を限度とする。
10. 競技日はアプローチ練習場、バンカー練習場は使用禁止とする。
11. プレー中の携帯電話の使用は原則禁止とする。
12. 新型コロナウイルス感染防止のため、保護者以外のギャラリーのコース内への立ち入りは全面禁止とする。
13. 保護者を含め、指定練習日および大会当日の服装およびエチケット・マナーに留意すること(ジーンズ、スウェット、Tシャツ、サンダル、ハイヒールなど禁止)。
14. 保護者の大会本部への出入りを禁止する。また、参加選手への競技中のアドバイスは規則10.2により罰せられるので注意すること。
15. 競技終了後、賞状・賞杯の授与のみの表彰式を行う。表彰対象選手は必ず出席すること。
16. 全国小学生ゴルフ春季大会出場者は男女各上位3名とする。競技不成立の場合、競技委員会で別途協議する。
17. 病気、事故等で参加を取り止める場合は必ず大会事務局に連絡すること。但し、この場合でも参加費は払い戻ししない。大会前(スポニチ Tel:03-3820-0651) 指定練習日及び競技当日(早来 CC Tel:0145-22-3010)

競技委員長

◇第15回北海道小学生ゴルフ大会 ヤーデージ◇

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	Total
ヤード	309	138	455	318	270	341	127	481	347	2,786	334	308	379	468	111	329	343	140	465	2,877	5,663
パー	4	3	5	4	4	4	3	5	4	36	4	4	4	5	3	4	4	3	5	36	72

※コース状況により、変更になる場合があります。